



国 公 連 合

国公連合発行 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
連合会館5F 公務労協内
TEL 03-5209-6205
FAX 03-5209-6206
編集発行人 荘司真佐人

第19回中央委員会

コロナ禍の下にあっても各級組織との連携を密にし 春闘期から人勧期の取り組みを展開することを確認

国公連合では、2021年の春季生活闘争方針などを決定するための中央委員会を、当初1月28日に集合形式で開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染が拡大し続けていることや政府が2度目となる緊急事態宣言を発出したことを踏まえ、書面審議に変更して決議を行い、中央委員の全員賛成で執行部提案どおり議案は承認された。

会や大衆行動などは現下の状況から開催を見合わせる分、構成組織や上部組織との連携をさらに密にしながら情勢認識の共有や意思統一を図ることが必要となる。

その一環として、直近の情勢や今年の春闘への取り組み姿勢などの提起や春闘方針案の審議結果に関する動画を国公連合として作成し、2月末まで限定配信している。

古新基地建設や南西諸島への自衛隊基地建設の問題に取り組んでいることを国公連合に結集する多くの組合員にも共有していただきたい。

春闘方針案に対する意見・要望と執行部見解

■移転料の取扱い

このことから、国公連合は引き続き連合に結集し、これまで以上に民間春闘を支援していくことを今年の春闘方針で確認した。

人事異動に伴う移転料について、自家用車等を輸送する航送料が支給対象外となっているが、沖縄では車は生活必需品であり、多くの民間企業では支給対象とされている。

航送料を含む移転料の完全支給を求めてもらいたい。また、支給審査に係る事務手続きの簡素化等を財務省へ

要求していただきたい。

この間、沖縄における自動車等の移送料の取扱いや異動する職員・現場の担当職員の負担などの課題を挙げてもらっている。

これらの点については、公務労協国公関係部会と連携し、各構成組織で把握されている課題等を集約して財務省と協議していくので、情報共有や提供をお願いしたい。

また、平和に関する取組についても、連合の平和行動などさまざまな活動に引き続き参加していきたい。



動画で課題等を提起する武藤委員長(左)と荘司書記長



沖縄国公労野高中央委員

また、平和に関する取組についても、連合の平和行動などさまざまな活動に引き続き参加していきたい。

また、平和に関する取組についても、連合の平和行動などさまざまな活動に引き続き参加していきたい。

副委員長回覧板

動画制作の現場から

コロナ禍、緊急事態宣言の下、2021春闘が始まった。国公連合も中央委員会書面決議の上、委員長あいさつや審議結果報告を動画配信し、春闘勝利に向けキックオフ。▼詳細は本文にて、裏方から感想を一言二言。▼動画はYouTubeにおいて2月末まで視聴可能である。公開後10日で閲覧数は160を超え、対象、内容、また限定公開であることを踏まえれば悪くない数字だと思う。集合形式ができれば一番だが、一方で動画配信は、幅広く仲間の皆さんに国公連合をより身近に感じる機会となる。動画により、今まで報告や紙面では知らなかった、話す、動く二役の姿を目の当たりにすることは、顔の見える春闘、一体感につながるのだと思う。ピンチはチャンス、制限を逆手にとの思いに仲間の皆さんも応えた、気持ちと気持ちがあふれた数字ではないか。▼収録に要した時間(編集を除く)は配信時間の10倍以上、仲間の皆さんにもYouTubeだったたり、動画配信に詳しい人もいると思う。小細工は控えめ。画面をつまみに眺めれば、それぞれの苦心と熱意が感じとれる空気の伝わるライブ、と受け止めてもらえれば何より。溢れ話はまたの機会に。【あらん】